



れいわ 玉置 美津恵 議員

教育行政について

問 本市における教育の現状や課題と取組について伺います。

答 教育長 現在、子ども達が置かれた状況を考えますと、社会の変化や感染症への対応等もあり、先を見通すことが難しい時代になってきています。学力については、学びの質の向上が大きな課題です。子ども達に求められる学力とは、知識の量ではなく、学んだ知識を基に、例えば、他者との違いを認め、互いを大切にしながら、より良いものを作っていく力です。確かな学力の育成には、授業の質の向上が不可欠ですので、旧に倍して取り組んでいきます。

このほか、急増する外国人児童生徒や不登校児童生徒への対応、教職員の働き方改革など課題は少なくありませんが、学校現場がやりやすくなるように、しつ

かりと支えていきます。

問 交通安全教育に関する取組のうち、自転車保険の加入状況について伺います。

答 教育部長 千葉県では、本年7月1日から、自転車保険の加入が義務化されました。

自転車専用の保険でなくても、保護者が現在加入している自動車保険や住宅の火災保険等の特約として、自転車事故故に対応している場合もあるため、市では、チラシ配布や学校だよりにより、保護者に確認をお願いしています。

問 学校では、保険の加入と併せ、自転車の点検・整備の必要性について教示しているか伺います。

答 教育部長 一学期の早い時期に、山武警察署や山武交通安全協会と連携し、交通安全教室を実施しています。

主に、小学3年生以上と中学1年生は、自転車の乗り方について学習します。また、中学校では、自転車点検と併せて自転車の整備の仕方についても学習しています。

その他、サドルの高さやブレーキの利き具合等、項目を設けて点検し、不備があれば家庭に伝えるなどの方法により、安全対策に努めています。



環境行政について

問 令和2年6月から、成東地域では特大サイズの可燃ごみ袋が導入されています。

山武・松尾・蓮沼地域での導入について伺います。



可燃ごみ袋 (成東地域)

答 建設環境部長 成東地域に特大サイズを導入する際、山武・松尾・蓮沼地域を管轄する山武郡市環境衛生組合に、同サイズの導入について提案しました。

しかし、過去に横芝光町で同様の試験導入をした際、需要がなく廃止した経緯等があることから、同サイズの導入は見送られています。今後、同組合に対し、再度の検討を要望していきます。

問 建設が計画されている新ごみ処理施設での、ごみ回収方法を伺います。

答 建設環境部長 令和10年度より、山武郡市環境衛生組合が山武市全域のごみ処理を行う予定であり、ごみ袋や回収方法が統一されます。

現在は、2か所の施設に分かれているため、回収方法が異なりますが、お互いの方法を参考にしつつ、当該組合構成市町で協議を進め、市民が戸惑うことのないよう、段階的に移行していきたいと考えています。

農業政策について

問 飼料用米等作付転換に係る補助金の取組状況について伺います。

答 産業振興部長 令和4年産の作付転換面積は約437ヘクタール、取組者は191人です。

令和3年産と比較して、転換面積は124ヘクタール、取組者は41人増加しています。

問 令和3年産の主食用米価の大幅な下落を受けて、各市町村が独自の米農家支援を行っています。本市における主食用米への補助金等支援事業の有無について伺います。

答 産業振興部長 稲作農家に限らず、コロナ禍における燃料費および肥料等の価格高騰により、生産コストが増加している市内農業者に対し、次期作への意欲の維持と農業者の負担軽減を図ることを目的とした支援金を支給する「農業資材等物価高騰対策支援事業」を実施します。

海岸の振興について

問 市民が訪れない海岸に、観光客が訪れるでしょうか。ビーチクリーンも市民が海に行く理由の一つになると考えますが、参加者を増やすための取組を伺います。

答 産業振興部長 次世代にこの海岸を継承していくためには、子どもか

ら大人までが共通の認識を持ち、一緒に活動していくことが大変重要です。

市では、地域の小中学生や地元の高校生を対象に海岸環境教育事業やブルーフラッグに関する出前講座等を実施し、地域の皆様にはビーチクリーンを通して海岸環境を守ることの重要性や必要性を伝える活動を行っています。

さらには、本須賀波乗り倶楽部（有志団体）と協力し、継続的に行っている月1回のクリーン活動には、大勢の方に参加いただいています。

その他、企業やボランティアグループによるビーチクリーンが多数行われており、市としては、このような活動を支援し、参加者の増加につなげていきたいと考えます。

問 ビーチクリーン参加者に達成感を感じてもらうため、ブルーフラッグ認証の本須賀海岸を広報さんむで特集し、かつ年間を通して表紙に掲載することを提案しますが、見解を伺います。

答 産業振興部長 さまざまな行事があるため、毎月の表紙掲載は難しいと思いますが、可能な限り広報の紙面を活用し、PR活動をしていきたいと考えます。

今後はさらに、市ホームページやSNS等を効果的に活用し、美しい海岸を守るビーチクリーンの取組をさらに拡大させるよう努めます。



れいわ 小川 一馬 議員

魅力ある海岸づくりについて

問 これまでも、観光振興や地域活性化を図るうえで、本市の一番の魅力である、海や海岸の有効活用について質問してきましたが、そこで挙がった課題の解決に向け、先進自治体や関係団体への調査研究などを要望しますが、市の見解を伺います。

答 産業振興部長 前回の定例会では、海岸地域全体を盛り上げ、地域経済を活性化させるため、海岸の門扉設置に関する事、潮干狩り場開設に関する事等について関係団体と協議を重ねていく旨、答弁しました。

今後、近隣市町等についても、調査していきたいと考えています。

問 蓮沼海浜公園前を通る主要地方道飯岡一宮線バイパス（九十九里ビーチライン）の木戸川河口部には、新たに橋を架ける計画がありますが、計画からすでに半世紀が過ぎようとしています。

現在の計画について伺います。

答 建設環境部長 事業化に向けて、平成7年3月に都市計画道路として決定された後、町村合併に伴い、都市計画の見直しが行われました。

そして、平成24年3月に蓮沼海浜公園本須賀納屋線として、都市計画決定され、現在に至っています。

問 木戸川に架かる「緑海橋」の歴史と現状について伺います。

答 建設環境部長 管理者である千葉県に確認したところ、現在の橋は昭和36年に完成し、その後、修繕や補強工事を行い、直近では、令和2年度に既存の橋に歩道を設置する工事が完成し、現在に至っています。



緑海橋

問 これまでも、木戸川に橋を架ける計画と地域市民の思いを議会でお伝えしてきました。

市長も、県議会議員の時代から、十分認識されていると思いますが、本計画が進行しない要因について、見解を伺います。

答 市長 本計画については、市の観光拠点である蓮沼海浜公園と本須賀海水浴場をつなぐ都市計画道路であり、まさに重要なかけ橋です。

これまでも、本市と九十九里町、横芝光町の1市2町により、建設促進に向け、県へ強く要望してきました。

この事業は、市のまちづくりに大きく関係しており、地域の活性化には必要不可欠と感じています。引き続き、しっかりと要望していきます。

問 橋が架かることで、成田空港を結ぶ県道（芝山はにわ道）、さらに圏央道を経由して、蓮沼海浜公園と本須賀海岸までの幹線道路が全面開通し、一つとなるこの計画を早急に実現するためには、現状や課題を積極的に精査し、市として明確なビジョンを示すことが肝要であると考えます。市長の意気込みを伺います。

答 市長 主要幹線道路の整備事業は、地域の活性化やまちづくり、また、九十九里沿岸部の発展につながる大事な事業であると考えます。

県議会議員にも協力いただきながら、要望を続け、「オール山武」で取り組んでいきます。